

講義名	英語 A (総合)			授業形態	
担当教員	山本 勝巳	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指します。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかるという態度を育成します。
 共通教材については、原則CALL教室でパソコンを使いながらオンラインで練習を行います。
 独自教材については、高校までに学習した英語内容の復習を含め、Discussionができるようになるというゴールに向けて、英文と図表を用いたテキストを使って学習します。

到達目標

共通教材：基本語彙と文法事項の確認と定着を目指します。
 独自教材：英文と図表を用いたテキストを利用して、自分の言いたいことが英語で表現できるようにする。

提出課題

- ・オンライン/オフラインでの課題提出を求めます。
- ・小テスト（複数回）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

共通教材：添削の小テスト問題について授業内で確認します。
 独自教材：小テストについて、登壇の講義の中で確認します。

評価の基準

出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点を50%とします。共通教材期末試験の得点を25%とします。定期試験の得点を25%とします。
 *15回の講義に出席して期末試験を受験した学生が評価対象となります。

履修にあたっての注意・助言他

授業には積極的に参加してください。英語の基礎力（語いおよび文法）を高めるよう努力してください。
 規定以上の出席欠席すると単位が認定されません。出席管理は自分で行うこと。
 講義外での学習・練習・受験も必要です。
 2025年度とは違うテキストを使用します。必ず購入してください。

教科書

.CLIL: 英語で考える現代社会2.	仲谷 都 / 油木 美由紀 / 山崎 勝 / Bill Benfield	成美堂	2,640	9784791972685
---------------------	--------------------------------------	-----	-------	---------------

参考図書

.なし.				

その他

授業中に適宜資料を配布します。

授業計画

- Moodle共通教材ガイダンス / Moodle共通教材WEEK 1 / Unit 1: Introduction
 予習内容: 共通教材: Moodle: WEEK 1の問題を解く(60分)。
 個別教材: 指定教科書を入手し、シラバスをよく読む。教科書「使い方の章」に目を通しておく(60分)。
 復習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 1に向けて復習(60分)。
 個別教材: Unit 1: Introductionの確認(60分)。
- Moodle共通教材REVIEW 1 / Moodle共通教材WEEK 2 / Unit 1: Reading・Data・Discussion
 予習内容: 共通教材: Moodle: WEEK 1の問題を解く(60分)。
 個別教材: Unit 1: Introductionの確認(60分)。
 復習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 2に向けて復習(60分)。
 個別教材: Unit 2: Introductionの確認(60分)。
- Moodle共通教材REVIEW 2 / Moodle共通教材WEEK 3 / Unit 2
 予習内容: 共通教材: Moodle: WEEK 1の問題を解く(60分)。
 個別教材: Unit 2: Reading・Dataの音読練習(60分)。
 復習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 3に向けて復習(60分)。
 個別教材: Unit 3: Reading・Dataの音読練習(60分)。
- Moodle共通教材REVIEW 3 / Moodle共通教材WEEK 4 / Unit 3
 予習内容: 共通教材: Moodle: WEEK 1の問題を解く(60分)。
 個別教材: Unit 3: Introductionの確認(60分)。
 復習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 4に向けて復習(60分)。
 個別教材: Unit 3: Reading・Dataの音読練習(60分)。
- Moodle共通教材REVIEW 4 / Moodle共通教材WEEK 5 / Unit 4
 予習内容: 共通教材: Moodle: WEEK 1の問題を解く(60分)。
 個別教材: Unit 4: Introductionの確認(60分)。
 復習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 5に向けて復習(60分)。
 個別教材: Unit 4: Introductionの確認(60分)。
- Moodle共通教材REVIEW 5 / Moodle共通教材WEEK 6 / Unit 5
 予習内容: 共通教材: Moodle: WEEK 1の問題を解く(60分)。
 個別教材: Unit 5: Introductionの確認(60分)。
 復習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 6に向けて復習(60分)。
 個別教材: Unit 5: Reading・Dataの音読練習(60分)。
- Moodle共通教材REVIEW 6 / Moodle共通教材WEEK 7 / Unit 6
 予習内容: 共通教材: Moodle: WEEK 1の問題を解く(60分)。
 個別教材: Unit 6: Introductionの確認(60分)。
 復習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 7に向けて復習(60分)。
 個別教材: Unit 6: Reading・Dataの音読練習(60分)。
- Moodle共通教材REVIEW 7 / Moodle共通教材WEEK 8 / Unit 7
 予習内容: 共通教材: Moodle: WEEK 1の問題を解く(60分)。
 個別教材: Unit 7: Introductionの確認(60分)。
 復習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 8に向けて復習(60分)。
 個別教材: Unit 7: Reading・Dataの音読練習(60分)。
- Moodle共通教材REVIEW 8 / Moodle共通教材WEEK 9 / Unit 8
 予習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 8の問題を解く(60分)。
 個別教材: Unit 8: Introductionの確認(60分)。
 復習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 9に向けて復習(60分)。
 個別教材: Unit 8: Reading・Dataの音読練習(60分)。
- Moodle共通教材REVIEW 9 / Moodle共通教材WEEK 10 / Unit 9
 予習内容: 共通教材: Moodle: WEEK 10の問題を解く(60分)。
 個別教材: Unit 9: Introductionの確認(60分)。
 復習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 10に向けて復習(60分)。
 個別教材: Unit 9: Reading・Dataの音読練習(60分)。
- Moodle共通教材REVIEW 10 / Moodle共通教材WEEK 11 / Unit 10
 予習内容: 共通教材: Moodle: WEEK 11の問題を解く(60分)。
 個別教材: Unit 10: Introductionの確認(60分)。
 復習内容: 共通教材: Moodle: REVIEW 11に向けて復習(60分)。
 個別教材: Unit 10: Reading・Dataの音読練習(60分)。
- Moodle共通教材REVIEW 11 / Moodle共通教材WEEK 12 / Unit 11
 予習内容: 共通教材: Moodle: WEEK 12の問題を解く(60分)。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得する。また、最新の国内外のトピックに関する英文の読解を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき情報収集力・情報分析力・課題発見力の育成につなげる。これらの能力は同学部生に求められる自業界の動向や問題点を理解するための基礎知識獲得・経済学部生に求められる現代社会の諸問題を幅広い視点から考察し、課題を提案することができる力、情報を分析し、活用することができる力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

共通教材：LMSをCALL教室、および授業外の自主学習に利用する。
 独自教材：教材配布・小テスト・期末試験（一部）の実施にもLMSを利用する予定。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし

備考

--